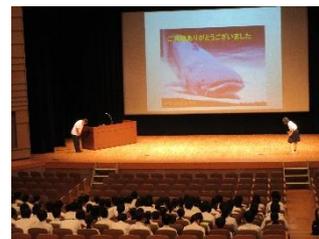


『鳴高ナビたんキャンプ』スタート！

生徒の皆さん、保護者の皆様、そして地域の皆様、今回は7/26(水)～28(金)に実施した新行事(「臨海学舎」の精神を受け継ぐ行事)について紹介します。

【琵琶湖や滋賀県を知る】

初日最初は、専門家による「琵琶湖の概要と水生生物」をテーマにした講義。湖の成り立ちや様々な生物のこと、外来種による変化など今後の活動につながる学びがありました。探究活動の良い導入にもなりましたね！



【琵琶湖博物館で深める】

講義で学んだことを、実際に生物を見たり資料を調べたりしながら確認します。趣向を凝らした展示室が複数ありじっくり…とはいきませんが興味や疑問へのヒントが用意されている…見学しながら、そう感じました。



【水草を採集して調べる】

午後は、琵琶湖版のSDGsの実践です。水草やゴミを回収した後、グループで分類。外来種や社会の問題を考える契機になれば…と思います。普段、環境保全のことに思いを巡らす機会は、恐らく少ないでしょうから。



【山に登り自然を感じる】

2日目は、朝から比良山にグループで挑みました。熱中症に注意しながら、ゆっくりと…生徒の皆さん、良く頑張りました。大変だったでしょうが、心身ともに鍛えられたのではと思います。先生方もお疲れ様でした！



【クラス全員で協力する】

夕食後は、湖畔でキャンプファイアーです。生徒が進行し、点火後に各クラスによるスタンプが披露されました。限られた時間の中で精一杯、クラス独特の個性豊かな発表に、学年全体が温かい声援を送っていました。



【いかだを作り走らせる】

3日目は、いかだ作り体験です。グループで組み立て、クラス対抗レースを実施。皆の力が合わさってこそ、前に進むことができる…実感したことでしょう。新行事には鍛錬と探究の要素が詰まっています。今後後輩を導いていけるよう、次回に向け備えていきたいと思ひます。(校長 黒河内雅典)

